

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

評 価 日	31年	3月	29日
-------	-----	----	-----

団 体 名	中込商店会協同組合		
事 業 名	中山間地における高齢者等交通弱者の買い物支援事業		
対象経費	2,340,552 円	支 援 金 交 付 対 象 経	468,552 円
支援金額	234,000 円		

事業の目的・内容	目的
	<p>佐久平駅周辺の一大商業集積化が既存商店街の体力を一年一年奪い続け、市内各地において廃業に追い込まれる商店の続出は、商店街機能の喪失に結びついている。必然的に、徒歩や自転車などで通える地元商店街に頼ってきた高齢者を始めとした交通弱者は、買い物難民として日常生活に支障をきたすこととなっている。</p> <p>中込駅を中心に中込地区はもちろんのこと、平賀、内山地区住民のお買い物の場として栄えてきた中込商店街も、他地区の商店街同様に廃業危機や後継者難で商店街としての存立が危うくなってきている。</p> <p>そこで、近隣の商店が皆無状態の平賀、内山地区の高齢者や移動手段を持たない住民向けに、実質的な試験運行となった昨年に引き続きジャンボタクシーを今年度も運行することとし、衣食住に関わる商店が少なからず残っている中込商店街において、自ら動いての消費活動が叶わない買い物難民の皆様にも、お買い物やお食事を楽しんでもらえる機会を提供した。</p> <p>同時に、中込の街の中にこだわって昨年新築移転された、恵仁会くろさわ病院へ通院される高齢者にもジャンボタクシーの活用を促してみた。</p> <p>そうすることによって、必然的に広い意味での商店街活性化への貢献を果たしていただくことになる。</p> <p>なおジャンボタクシーの運行に当たっては、運行している公共交通の運行ダイヤと重ならないよう、運行時間の設定には細心の注意を払った。もちろんジャンボとはいえ小回りのきくタクシーの特性は最大限活かし、玄関に横付けしての送り迎えを行うこととした。</p> <p>さらには昨年の反省を活かし、貸切時間内での可能な限りの車移動を心掛け、足腰の不自由な高齢者に最大限の配慮をすることとした。</p>

事業の目的・内容	<p>内容</p> <p>1. 送迎ジャンボタクシー(定員9名)の運行 6月から3月までのほぼ1年間、毎月第1と第3の木曜日を基本に合計で18回運行した。午前中には自宅まで迎えに行き、それぞれのお買い物並びに昼食が終了する午後自宅までお送りした。 なお乗車を募集する地域が平賀・内山の広範囲にわたるため、タクシー会社との契約の3時間の中では1往復の運行しか望めないこともあり、お客様の街中でのお店からお店への移動の際には、可能な限りタクシーに乗車していただき、費用対効果の充実に努めた。 さらに昨年に引き続いて2度目の運行となった本年は、月の後半の運行日となる第3木曜日に中込商店会の「毎月マルシェ」が開催され、街に出掛ける楽しみもプラスさせてタクシー利用を勧奨できた。</p> <p>2. チラシの制作、新聞折り込み 6月から3月まで、毎月第1水曜日に平賀・内山地区限定で新聞にチラシを折り込み、申し込み方法を含めた事業の内容説明を広く知らしめた。 その際には各商店の協賛セールを魅力満載で企画実施したり、その月ごとの目玉商品やサービスを広く地元で宣伝したりし、タクシー利用希望者にとどまらない地元消費者の呼び込みに必要不可欠な手立てとして、毎月のチラシを大いに活用した。 ちなみにチラシは5000枚用意し、そのうちの4600枚は新聞折り込みとした。そして残りの400枚は、商店街各店に配布し店頭でお客様に手渡すのみならず、くろさわ病院並びにサングリモ中込にも置いていただくことによって、新聞未購読者を筆頭としたターゲット層にも本事業の存在をアピールすることとした。 さらには、平賀・内山地区の各区長さんのご理解・ご協力の下、回覧板でのタクシー運行に関する簡潔な案内を実施し、該当地域への告知の周知徹底を図った。 なお既存の広報手段である中込商店街だよりでも、火曜印刷の木曜店頭配布(新聞折込は土曜)という「速報性」を十二分に発揮させて、最新情報をお届けすることとした。</p> <p>3. ポスターの制作、掲示 3ヶ月間のみの実験的運行から10ヶ月間の本格運行となる本年は、恒常的な認知度アップを図るべく、ポスターを制作して商店街各店の店頭並びに商店街内の病院や公共機関に掲示した。 併せて、昨年の事業期間終盤に回覧板での対象地域全戸への案内配布を勧めてくれた、平賀・内山地区の区長会にあらためてご理解ご協力いただき、各公会場(全30ヶ所)にもポスターを掲示した。 ちなみにポスターのデザインは、昨年商店街の中に掲示するイラスト看板を共同で制作してもらった、野沢南高美術部と野沢北高美術班に今回も依頼し、話題性のある仕掛けを試みた。そうすることによって、本事業への関心、注目を高め、利用度のアップに繋がった。</p>
----------	---

事業の活動実績	<p>第1回 6月7日 1名乗車、 第2回 6月21日 2名乗車、 第3回 7月5日 1名乗車、 第4回 7月19日 1名乗車、 第5回 8月2日 1名乗車、 第6回 8月16日 乗車希望者無し、 第7回 9月6日 2名乗車、 第8回 9月20日 2名乗車、 第9回 10月4日 1名乗車、 第11回 11月1日 1名乗車、 第12回 11月15日 1名乗車、 第13回 12月6日 1名乗車、 第14回 12月20日 乗車希望者無し、 第15回 1月10日 2名乗車、 第16回 1月24日 1名乗車、 第17回 2月7日 3名乗車、 第18回 2月21日 1名乗車、 第19回 3月7日 1名乗車、 第20回 3月21日 1名乗車</p> <p>※なお、第6回(8/16)、第14回(12/20)と2回乗車希望者が現れない回があったので、2月13日と3月13日に計画になかった運行を試みてみたが、2回とも乗車希望者が無かった。</p>
---------	---



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	<p>昨年からスタートしたデマンドタクシー（予約制乗合タクシー）の平賀エリア線は、月曜日から金曜日まで毎日最低でも3便運行されており、非常に使い勝手の良い公共交通となっているが、従来からあるバスの代替交通ということもあり、停留所での乗り降りが求められている。それに対し、当事業のジャンボタクシーは1便のみの月2回運行ではあるが、ご自宅までお迎えに上がりご自宅まで送り届ける方法を取っており、停留所までさえ足を運ぶのが困難な交通弱者にも利用を呼び掛けることが可能となった。すなわち民間が取り組む公共交通を補完する仕組みということになり、公益性の高い事業となった。</p> <p>さらには、地元住民にとっては昔から馴染みのある中込商店街へタクシーで足を運ぶことによって、第3木曜日に開催された商店会イベントの「マルシェ」のみならず、カラオケ、健康マージャン、映画鑑賞で、「居場所」を確保していただくことが可能となった。</p>	
自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった ④ ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>昨年の反省を活かし様々な手立てを施したつもりだが、需要と供給のミスマッチは最後まで解消できず、全20回の運行さえ叶わなかった。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた ③ あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>利用者にとっての交通公共機関への民間による補完という仕組みは果たすことができたが、残念ながら定員9名というジャンボサイズのタクシーの特性は活かし切れなかった。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>前述の通り、2回の運行中止が発生したため。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>中込商店会一丸となって取り組んだことはもちろんのこと、地元区長会や地元高校などの地域の皆様にも大いにご理解お力添えいただいたことは、評価すべき点であると確信している。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>将来的な自立を念頭に、少なくとも3年は関係機関の手厚いご支援をいただきながら活動を継続させていく覚悟であったが、使い勝手の悪さが原因なのか、日本人古来の遠慮深さのせいなのか、無料であっても買い物支援のタクシー運行はフル活用されることが出来ずじまいとなってしまった。こうなったら高齢者を始めとした交通弱者へのジャンボタクシーを通じた買い物支援の継続は断念し、違うアプローチとして地域住民への商店街そのもののアピールに努め、商店街の存在意義を再認識していただくとともに街の活性化に繋げていく。</p>
---------	---